

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視 点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の主体的な学習を推進し基礎学力の向上と、思考力・判断力・表現力を育む取り組みを充実させる。 ②情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を見・解決したり、自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力を養成する。	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。 ②情報技術を活用し、生徒の個性を大切にする授業を実践する。	①校内研究授業等で各教科の単元(題材)の指導と評価について、協議することで更なる工夫改善を図る。 ②各HR教室に設置されている電子黒板の効果的な使用方法や生徒1人1台端末の活用について、更なる研究を進める。	①②「生徒による授業評価」等を活用し、達成状況を評価する。生徒一人ひとりの個別の発想がいかにか引き出されたか。					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒会活動や部活動の充実により、豊かな人間性の育成を図る。 ②生徒に基本的な生活習慣の確立と社会人としてのモラルを身に付けるための指導を充実させる。 ③教育相談体制を活用することで生徒理解に努め、生徒が安心して学べる安全な学校づくりを進める。	①生徒会等の諸活動を通じ、自ら考える人材の育成を目指す。 ②社会人としてのモラル教育に重点を置き、個々の生徒に合わせた指導を行う。	①生徒と対話する機会を設け、生徒自身が主体的に活動できるように補佐、助言する。 ②あいさつ指導及び、登下校指導を重点指導項目として定め、定期的な指導を行い、地域社会との共生を生徒に意識づける。	①活動に伴う課題を解決し、効果的に実施できたか。活動に対する生徒満足度は高いか。 ②年間を通して登下校指導が定期的に行えたか。それによる近隣からの連絡数の推移は減少しているか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価 (月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①自らの進路について、自己啓発の機会を設け、将来像を創造することのできる人物を創る。 ②自らのキャリア設計を行わせ、将来に必要な資格・検定試験や就業体験に取り組みさせるなど、キャリア形成を目指す。	①様々な進路についての情報収集を行い創造し、将来像についての探究心を育む。 ②生徒が主体的にキャリア設計できるように、資格検定取得やデュアルシステム、インターンシップの事業を推進し、充実させる。	①進路についての情報源を充実させ、活用する習慣をつけさせる。 ①得た情報から、自らの将来像をまとめる機会を設け、具体的な進路活動方法を導かせる。 ②工業4科で資格試験や技能講習会へ主体的に挑戦できるよう激励する。デュアルシステムやインターンシップ事業を協力企業へ依頼し、生徒への説明会実施や指導を重ねる。	①進路についての情報源について、効率よく活用することが出来ているか。 ①将来の自分の姿を想像できる様になったか。 ②ジュニアマイスター表彰生徒数が昨年度の13名より増加したか。 デュアルシステム、インターンシップともに、就業体験が成り立たないほどの欠席者がでなかったか。					
4	地域等との協働	①家庭や地域、小・中学校、総合学科高校等と連携を通して、専門教育への理解を図るとともに本校の魅力・特色の発信を行う。 ②地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを進める。	①小・中学校や大学に対し、本校の魅力・特色の発信を強化する。	①中学校の進路説明会にはできる限り出席し、本校の学校活動をPRする。 ①小学校への出前授業や本校の施設見学など、連携を強化する。 ①教員を志望している大学生に対し、工業高校の特色を説明し魅力を発信する。	①中学校で実施される説明会への出席回数。 ①小学校への出前授業の回数と施設見学の回数。 ①大学への訪問回数。					
5	学校管理 学校運営	①不祥事防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力の向上を図る。 ②生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を進める。	①組織的な取り組みを通じてコンプライアンス意識を向上させ、不祥事防止に向けた意識啓発を徹底する。 ②生徒の防災及び防犯意識の向上を図り、有事の際の行動力を高める。	①教職員が取り組みやすい内容の不祥事防止研修会を実施し、コンプライアンス意識の向上を図る。 ②火災を想定した訓練等を通じて、防災意識及び非常事における判断力及び行動力を高める。	①不祥事防止会議と研修の連携による取り組みを行い、効果的な研修を通じて教職員の意識向上が図られたか。 ②火災を想定した訓練を実施できたか。また、防災意識及び非常時における判断力及び行動力を高めることができたか。					